

白石の新鮮野菜 う～んとうまいから、食ってみてけらい～ん！

白石市農産物直売所連絡協議会では会員を募集しています。市内で直売活動をされている方など



●2月の人気農産物 ホウレンソウ、ネギ、白菜、つぼみ菜、アサツキ など



青っ葉市直売所

今月は、あま～い「シリウスいちご(もういっこ)」(数量限定)が2月第2週から販売予定!



2月11日(水)は、①②両店で「赤飯」と「甘酒」を準備して、皆さまのお越しをお待ちしております。

- ①ポーチパーク内 2月4日(水)のみ休業 毎週水・土曜日9:00～12:00
②本郷店(旧国道113号角田街道踏切そば) 2月11日(水)から営業 毎週水曜日9:00～12:00
③いきいきプラザ 4月18日(土)から営業
※スーパービック白石店でも新鮮野菜を販売しています。

馬牛沼産直センター

毎週火・木・土・日曜日9:00～17:00
新鮮冬野菜のほか、「齋川凍豆腐」なども取り扱い中!



軽トラ市

毎週金曜日9:00～12:00
●場所 すまゝひろば
◎四電 ☎29-2451、山田 ☎26-1345

羽山朝採り市

毎週土曜日9:00～12:00
●場所 犬卒都婆公会堂前
◎小畑 胖 ☎27-2236

小十郎の郷

1月31日(土)、2月1日(日)の2日間、小十郎の郷「節分祭」を開催します!

①落花生のつかみ取り 1,000円以上お買い上げの方が挑戦できます(1回限り、開店時からなくなり次第終了)。

②自家製甘酒のお振る舞い お買い上げいただいた皆さんに、10:00から提供します(なくなり次第終了)。

●販売時間 9:00～18:00 年末年始を除いて毎日営業

●場所 JAみやぎ仙南白石地区事業本部構内(福岡長袋字八斗時)

◎小十郎の郷 ☎22-0881

http://www.kojuro-sato.com

小原いきいき直売所

3月まで休業中。4月から営業を再開します。

※しろいし産の新鮮な旬の野菜や花、漬物などを販売しています(直売所により品ぞろえは異なります)。
※白石市農産物直売所連絡協議会加盟店のみ掲載しています。「SSN」は「白石・新鮮・農産物」の略称です。

こっちの方が大きいよ!

1月、市内の保育園・幼稚園の園児たち約270人が生ごみ資源化事業所「シリウス」に隣接する温室ハウスでいちご摘み体験と試食を行いました。この催しは、食農教育の一貫として毎年開催。園児たちは、摘み取り体験の前に「いちごが出来るまで」の説明を聞いたあと、大きく真っ赤に実ったいちごを「おっけい～」「あま～い」「おいしい～」と笑顔でほおばっていました。



応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内(未発表のものに限る)。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

亡き舅四十二歳姑は八十路と親子のごとき
遺影や 高子うぶん
商うに葉鳴らしつつ来る車灯油の価格耳澄ま
し聞く 未吉アツ子
黒き髪きりりと東ね通動の乙女朝けを足早に
ゆく 寺崎 悦子
七草のこれもとひとつと氷割り川芹つみし遠
き雪の日 後藤 淑子
こんなにも晴れたるよき日になんとなく重き
思いをほらい得ぬまま 門脇 貞造
みちのくの過ぎゆく秋の山のうえ時雨がみや
げに虹おいてゆく 鈴木 茂子
北風にくら雀ら寄り添って声たのしげに交
し居る朝 佐藤 啓子
今日は良き日細の羽織を身に付けて投票の義
務果たし安堵す 山田 濱
山麓の林の中のミュージアム友と静かに絵画
たのしむ 大庭美智子
落ちつる枯れ葉の中よりりんとどうがひとつま
じりて紫の花 別当内信夫

俳壇

山家 弘子 選

ミレー展銀杏落葉を踏みしめて
新雪を七折八重と栗鼠渡る 大庭美智子
深々と白きを纏い山眠る 服部 忠孝
番犬と会話しあつてある冬の星 高子うぶん
近隣の軒を賑わす吊し柿 跡部 祐子
眠りこけテレビ見逃す炬燵かな 末吉アツ子
岩澤 伍峯

柳壇

四電 英夫 選

短日や昼の葉を飲み忘れ
案内地図見ながら散歩花八つ手 制野 リエ
枯葉舞ふ山の茶店に我れひとり 別当内信夫
日だまりの止り木もとめ寒雀 佐藤 孝子
【評】一句目、宮城県美術館で十一月一日から十二月十四日までミレー展が開催された。厳しい農民の労働や家族を、慈愛に満ちた目差で描いた作品は観る人の心をうつ。銀杏落葉の季節がピッタリ。
二句目、新雪を被った森の樹々の大枝小枝を折り曲げては目にも止まらぬ速さで走るリスを見つけた。走るたびに雪が粉雪となって落ちる。リスの可憐さが描かれた。
三句目、この度の最強の爆弾低気圧で死者も出た。「こんなのは初めて」と口々に言う。白石にも風雪注意報が出て蔵王連峰は大雪で真っ白になった。それを「深々と」とは言い得て妙。

乙未年

農家の副業の域を出るものではない。なかつたようです。

「アメリカさんのひつじ メイメイひつじ メリーさんのひつじ まっしろね」という童謡を覚えていますか? アメリカの童謡の「メリーさんのひつじ」です。最初が「まっしろね!」だったのです。私は「かわいいわね」だと今まで思っていました。なんと2回目「かわいいわね」でした(笑)
今年、平成27年は未年です。動物では羊があてられます。その羊によく似た動物がいますね。そう、山の羊と書いて山羊です。羊と山羊の違いは、角の有無と尾の長さで羊には角がなく、尾も短いので。
ただこれは、人間が遺伝子的改良をした結果で、生後間もなく去勢され、角が出ないようにしているのが、放っておけば雄羊には、角が出るそうです。その証拠に世界には角があり、尾の長い羊も珍しくないそうです。山羊は乳用、羊は毛や食用のための家畜であることが大きな違いです。山羊の毛は人毛に近くてしなやかさに欠け、年に一回脱毛するため毛が長くならず、織物には適さないそうです。それに対し、羊の毛は細くしなやかで、脱毛しないため長くなり、織物に適しているようです。
羊が日本に来たのは、推古天皇時代に、ラクダなどとともに貢ぎ物として2頭が贈られたことが「日本書記」に記されているそうです。その時は一般に広まることなく、珍獣としてもはやされたようです。羊が家畜として普及し始めたのは、日本人の服装が着物から洋服に変わって、羊毛の自給が必要となつてからで、実際に家畜として飼育されるようになったのは、大正時代。それも縁起の良い字が多いです。
そんな未年の今年、4年前のあの震災から物理的、精神的にも復興させ、美しく発展させるよう、大局的に見ながら自分たちを信じ、お互いに力を合わせ一歩も二歩も前進してまいりましょう。「共汗! 共学! 共生!」の精神を忘れずに。